

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
麻生外語観光&製菓専門学校	平成3年1月8日	瀧口 博俊	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 092-415-2293																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999																				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																		
商業実務	商業実践専門課程	ブライダル・ウェディング科		平成28年文部科学省告示第19号	-																		
学科の目的	結婚式場を備えたホテル及び結婚式場のスタッフ、衣裳コーディネーターなどブライダル産業に幅広く関わり、活躍できる人材の育成を目指す。																						
認定年月日	平成26年3月31日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	1720	615	1450	440	0	0																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
80人	62人	0人	2人	14人	16																		
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～8月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テスト等の総合評価																			
長期休み	■夏季:8月7日～9月12日 ■冬季:12月23日～1月10日 ■春季:2月1日～3月31日		卒業・進級条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ガイダンスの実施。 学科責任者との面談、三者面談の実施。		課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有																			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) ホテル、ブライダル、旅行業界など ■就職指導内容 希望する業界(企業)と個々の適正を見定め、指導、助言を与える。 ■卒業生数 19 人 ■就職希望者数 16 人 ■就職者数 16 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 84.2 % ■その他 : (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パーソナルカリスト検定3級</td> <td>③</td> <td>18</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカリスト検定2級</td> <td>③</td> <td>18</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>マナー・プロトコル検定3級</td> <td>③</td> <td>19</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	パーソナルカリスト検定3級	③	18	15	パーソナルカリスト検定2級	③	18	8	マナー・プロトコル検定3級	③	19	8
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																				
パーソナルカリスト検定3級	③	18	15																				
パーソナルカリスト検定2級	③	18	8																				
マナー・プロトコル検定3級	③	19	8																				
中途退学の現状	■中途退学者 2名 令和2年5月1日時点において、在学者58名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者56名(令和3年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による定期ガイダンスや三者面談の実施、定期的な状況報告。		■中退率	3%																			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 東日本大震災により被災して進学が困難になった者を対象に、入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																						
当該学科のホームページURL	https://asoju.ac.jp/aftc/bridal/																						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業連携により、実践的かつ専門的な職業教育を実践することで人材養成課程の質の保証・向上を基本方針とする。授業科目開設においては、卒業生を対象とする「お客様アンケート」結果による企業視点を軸とし、航空業界、空港での地上支援業務において必要とされる知識・技術の修得を目指す。実践の機会として設定するインターンシップでは、職業像と必要適性を明確にし、各自の具体的なキャリアプランを構築するための取り組みとする。また実務を経験し、適切な指導・評価を受けることで学内での学習との相乗効果を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

専攻分野における市場動向や地域産業振興の方向性等に関する意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を

確保することを目的とし、教育課程編成委員会を設置する。尚、委員会では、次に掲げる事項を審議する。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

カリキュラム会議では、教育課程編成委員会の審議内容を基に、授業科目の改善や新規開設、授業内容や授業方法の改善を検討する。これにより専攻分野で必要とされる知識・技能の修得を可能とする質の高い教育の提供を目指す。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
小野 聡之	九州BMC常任相談役兼副会長	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	①
平安 明佳	株式会社ディアーズブレイン 人材開発部	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	③
三苫 秀一郎	麻生外語観光&製菓専門学校 副主任	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	
東 まゆみ	麻生外語観光&製菓専門学校 ブライダル・ウェディング科 リーダー	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	
中村 直輝	麻生外語観光&製菓専門学校 ブライダル・ウェディング科 教員	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)年2回 9月、11月

(開催日時(実績))

令和2年度 第1回 令和2年9月15日(火) 17:20-18:00

令和2年度 第2回 令和2年11月26日(木) 16:50-17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

これからのブライダル業界は、オンライン結婚式やオンラインで式場紹介など新しい手法を取り入れることになるので、最新のブライダル業界の情報交換しながら、次年度から専攻別授業がより詳しくなるので、現在のカリキュラムについて意見をいただき、有益であるとの意見をいただいた。

また、次年度からの専攻分けにより、検定試験も各専攻により専門的になるため、現場での活用などブライダル業界での重要性についても意見をもらい、カリキュラムに反映させる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業連携の下、専攻分野における実務に関する知識、技術および技能を教授し、就職に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを基本方針とする。その内容については、将来航空業界において即戦力となり得る人材育成のための、より実践的な職業教育の質の確保を目的とし、企業との密接な連携による最新の実務を的確に反映した教育を提供する。具体的には、実践の機会である空港実習を設定し、職業像と職業適性を認識させることで、学生自らが具体的なキャリアプランを構築することを可能にする。また、実務を経験し、指導・評価を受けることにより学内での学習との相乗効果を図る。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

2回の実習ともに、実習内容や勤務時間については、事前に企業と学校で協議を行い決定し、覚書に記載している。また、企業担当者に記載していただく評価表の内容や評価規準についても事前に確認を実施する。実習期間中には、個々の学習成果を確認するために学生に専用記録ノートを作成させる。最終評価は、企業の実習担当者による評価表と期間中の勤務状況、専用記録ノートの内容などを踏まえた総合評価とする。

科目名	科目概要	連携企業等
ブライダル実習A	企業連携により実施する2週間のブライダル実習を通してブライダルの現場にのの仕事内容を理解し、必要とされる知識・技能を取得する。	(株)テイクアンドグヴ・ニーズ アルカディア 高見(株) (株)エスクリ (株)ノバレーゼ
ブライダル実習B	企業連携により実施する。8週間のブライダル実習を通してサービスにおいて必要とされる知識・技能を取得する。また、各ブライダルの現場を通して、最新のトレンドとブライダルマーケットの現状を学ぶ	八芳園、ホテル雅叙園東京、 明治記念館、椿山荘

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員に対して、現在就いている職務又は将来就くことが予想される、職務の遂行に必要な知識・技能を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が、計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: ブライダル業界における著作権について
企業名: 株式会社ブライト
期間: 令和2年7月30日 対象(参加者): 中村 直輝
内容: 披露宴会場にて使用される曲の著作権についての対応

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 相手も自分も活かす個別対応力強化研修
連携企業等: 組織デザイン・ラボ
期間: 令和3年2月10日 (参加者): 東 まゆみ
内容: 学生のタイプ別にどのように対応すると効果的であるかを分析する

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: ブライダル業界定例セミナー
企業等: 九州B.M.C 対象(参加者): 東 まゆみ
期間: 令和3年7月21日予定
内容: ブライダル協会の定例セミナーが行われる予定。内容については検討中。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：個別対応力強化研修
 連携企業等：組織デザイン・ラボ
 期間：令和4年2月 (参加者)：東 まゆみ
 内容：事例を使い、より効果的な質問を作り、実践する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりをおこなう。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、人事・給与規程、業務効率化、他
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5) 学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11) 国際交流	留学生の受入れ、支援体制

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

国家試験や検定試験はシラバスにも影響するのでより一層分析を行う必要があるという意見、また、新型コロナウイルス拡大で予定していた企業インターンシップができなかったこともあり、その代替として専門分野の検定を調査、あらためて洗い出しを行い、検定対策授業科目を実施。現場での実務経験ができなかった部分の補填のひとつとした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
荒木 幸枝	エアライン科 在校生 保護者	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	PTA
堀部 豊和	平成22年度 卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	地域住民
豊福 成史	福岡県立嘉穂東高等学校 校長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	高校関係者
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事、事務局長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員
中村 仁美	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 旅客サービス課 マネージャー	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	企業等委員
鈴木 毅剛	ANA福岡空港株式会社 貨物・グランドサービス部 貨物郵便課 アシスタントマネージャー	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	企業等委員
大屋 寿	株式会社 ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	企業等委員
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	企業等委員

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aftc/2020/hyoka.pdf>

公表時期:令和2年10月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、ASOの考え方
(2)各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、国家資格・検定、就職情報
(3)教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート、留学生学習・生活サポート、留学生就職サポート
(7)学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援、各種支援制度
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生入学案内、留学生募集分野、グローバル教育、海外での大学教育
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

<https://asojuku.ac.jp/aftc/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ブライダル・ウエディング科) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ウエディングセレモニー論A	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ	1前	30	2	○			○	○			
○			ウエディングセレモニー論B	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ	1後	30	2	○			○	○			
○			ウエディングプラン演習	オリジナルウエディングの企画・演出能力を養う	1後	30	2	○			○	○			
○			ブライダルメイクA	ブライダル業界で働く上で必要な基本メイクを学ぶ	1前	15	1		○		○			○	
○			ブライダルメイクB	ブライダルの簡単なヘアメイクがお客様にできるようになる技術を養う	1後	15	1		○		○			○	
○			メイク検定対策 I	セルフメイクによる基礎から仕上げまでを身に付ける	1前	30	2		○		○			○	
○			ブライダルフラワー I A	ブライダルの現場で必要な基本の花の取り扱い方、花の流通を習得する	1前	15	1		○		○			○	
○			ブライダルフラワー I B	ブライダルの現場で必要なブーケ、装花の知識を習得する	1後	15	1		○		○			○	
○			ブライダル衣裳 I	ドレスコーディネーターとして必要な知識を習得する	1後	15	1		○		○			○	
○			ブライダル接客演習 I A	ブライダルスタッフとして必要な接客技能の基本を身につける	1前	15	1		○		○			○	
○			ブライダル接客演習 I B	ブライダルスタッフとして必要な接客技能の基本を身につける	1後	15	1		○		○			○	
○			カラーコーディネート演習 A	披露宴の演出及びドレス・装飾などに必要な色についての基礎知識を深める	1前	15	1	○			○			○	
○			カラーコーディネート演習 B	披露宴の演出及びドレス・装飾などに必要な色についての基礎知識を深める	1後	15	1	○			○			○	
○			レストラン・バンケット演習 I A	レストランウエディングや披露宴での料理、飲物のサービスについて学ぶ	1前	15	1		○		○			○	
○			レストラン・バンケット演習 I B	披露宴会場でのサービスを想定し、婚礼料理や飲み物の知識を学ぶ	1後	15	1		○		○			○	
○			ブライダル産業演習 I A	ブライダル施設の知識を深め、専門式場やチャペル見学によりブライダル業界についての知識を深める	1前	15	1		○			○	○	○	
○			ブライダル産業演習 I B	現場担当者の講話及びセミナーを実施し、ブライダル業界の視野を広げる	1後	15	1		○			○	○		
		○	業界インターンシップ	ブライダル業界で仕事をするにより、現場に早く慣れ、知識を見つけることができる	1後	40	1			○	○			○	

(商業実務専門課程ブライダル・ウェディング科) 令和3年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	海外ウエディング研修	海外ウエディングの現場を視察し、実務を見学することにより、職業観を深める	2後	40	1		○			○	○		
○			文章表現 I	文章検定 4 級を目指し、国語力を身に付ける	1後	30	2	○			○			○	
○			S P I I	就職試験筆記対策として学ぶ	1後	15	1	○			○			○	
○			一般教養 I	就職試験対策として基本事項を学ぶ	1後	15	1	○			○			○	
○			サービス接遇 I	サービス接遇検定を前提に、接客の基本動作、言葉遣いを習得する	1前	30	2	○			○			○	
○			Word	ビジネス文書作成法を学び、Word検定3級の取得を目指す	1前	30	2	○			○			○	
○			社会教養 I A	ブライダル実習の準備、学生紹介シートの作成する	1前	15	1	○			○			○	
○			社会教養 I B	自己分析、業界研究など就職のための準備をする	1後	15	1	○			○			○	
○			ペン字	社会人として日常業務に必要なペン字の基礎的な知識、技能の修得を目指す	1後	15	1	○			○			○	
○			G C B I	感謝心と思いやりの教育	1前	15	1	○			○			○	
○			ブライダル実習 A	ブライダル企業で実習することにより知識と実践力を養う	1前	80	2			○		○	○		○
○			ブライダル実習 B	ブライダルの現場にて実習し、仕事の内容、知識を深める	1後	320	8			○		○	○		○
○			G C B II	志について学ぶ	2前	15	1	○			○			○	
○			国家試験対策	ブライダルコーディネーター技能検定取得を目指す	2後	45	3	○			○			○	
○			パーソナルカラー A	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラー検定3級の取得を目指す	2前	60	4	○			○			○	
○			ブライダル接遇演習 II	ブライダルの各場面の現場での接客のやり方を学ぶ	2前	15	1	○			○			○	
○			和装着付け演習	和装を自分にも相手にも着付ができる力を養う	2前	30	2	○			○			○	
○			イベントプランニング	企画案をイベントとして実行できる力を養う	2前	15	1	○			○			○	
○			ブライダルマーケティング	ブライダル市場の状況や、経営について学ぶ	2後	30	2	○			○			○	

(商業実務専門課程ブライダル・ウエディング科) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ブライダルフォト演習	ブライダル業界に必要な映像技法を学ぶ	2後	15	1		○		○			○	
○			海外ウエディング概論	日本の海外ウエディングの歴史を学ぶと共に、現在の海外ウエディング事情を学ぶ	2後	15	1	○			○			○	
○			ブライダルコーディネーター演習	模擬結婚式に向けて必要な専門知識を身に付ける為、各分野の現役講師より最新のブライダル事情を学ぶ	2前	30	2		○		○		○	○	
○			サービス接客検定Ⅱ	サービス接客検定2級、準1級を受験する力をつける	2前	30	2	○			○		○		
○			マナープロトコール	冠婚葬祭及び国際プロトコールについての知識を身につける	2後	30	2	○			○			○	
○			S P I Ⅱ	就職試験に備えて筆記対策をする	2前	15	1	○			○			○	
○			社会教養ⅡA	自己分析、業界研究など就職のための準備をする	2前	30	2		○		○		○		
○			社会教養ⅡB	社会人になるにあたって、必要な知識を身につける	2後	30	2		○		○	○	○		
○			文章表現Ⅱ	文章検定3級を目指し、文章の構成作り方を学び就職試験に活かす	2後	30	2	○			○			○	
○			PowerPoint&Windows演習	お客様への提案や、チラシ、資料などを作成する力をつける	2後	30	2		○		○			○	
○			Excel	グラフ・表作成法を学び、Excel検定3級の取得を目指す	2前	45	3		○		○			○	
○			イラストレータフォトショップ	ブライダル商品の販売・広報用ツールとしての画像処理方法や活用方法を学ぶ	2後	30	2		○		○			○	
○			手話	結婚式場の現場で案内、誘導ができるレベルを目指して学ぶ	2後	30	2		○		○			○	
	○		司会演習 *A	結婚式での司会についてシナリオの作り方を学ぶ	2後	30	2		○		○			○	
	○		ブライダル産業演習Ⅱ *A	式場の違いを学び、現場のスタッフより仕事を学ぶ	2後	15	1		○			○	○	○	
	○		音響照明演習 *A	結婚式での、音楽、照明について学ぶ	2前	30	2		○		○	○		○	
	○		ブライダルプランナー検定対策 *A	ブライダルコーディネーター技能検定取得を目指す	2後	60	4	○			○		○		
	○		ホテル概論 *AB	ホテルのしくみを知り、ホテルの中でのブライダルについて学ぶ	2後	30	2	○			○		○		
	○		レストランバンケット演習Ⅱ *B	国家試験HRSに向けて実技試験対策	2後	75	5		○		○			○	

(商業実務専門課程ブライダル・ウエディング科) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		HRS対策 *B	国家試験であるHRSに向けて筆記試験対策	2前	60	4			○				○	
	○		プランナー演習(専攻) *AB	模擬結婚式に向けて、全体のテーマの企画・運営を学ぶ	2後	90	6			○				○	
	○		ドレス演習(専攻) *C	ドレスコーディネーターを目指す為、衣裳についての知識を身に付ける	2後	90	6			○				○	
	○		ビューティー演習(専攻) *D	ブライダルメイク・ヘアアレンジ・ネイルなど、花嫁をトータルに演出するアイテムについて知識を深める	2後	90	6			○				○	
	○		ブライダルネイル *CD	模擬結婚式に向けて、全体のテーマの企画・運営を学ぶ	2前	30	2			○				○	
	○		ブライダル衣裳Ⅱ *CD	ドレスやタキシード、和装についての知識を深める	2前	30	2			○				○	
	○		ブライダルメイクヘアアレンジ *CD	模擬結婚式に向けて、衣裳選定や着付けを学ぶ	2前	30	2			○				○	
	○		スタイリスト演習 *CD	体形に合わせた衣裳の選び方を学ぶ	2後	15	1			○				○	
	○		メイク検定対策Ⅱ *CD	1年次のメイク検定より専門的にお客様にメイクができるように学ぶ	2後	30	2			○				○	
	○		パーソナルカラーB *CDE	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラー検定2級の取得を目指す	2後	30	2	○						○	
	○		フラワー演習(専攻) *E	模擬結婚式に向けて、ブーケ・会場装花の演出について学ぶ	2後	90	6			○				○	
	○		ラッピング演習 *E	基本の箱包みから、ボトルなどのラッピング方法を学ぶ	2後	30	2			○				○	
	○		ブライダルフラワーⅡ *E	結婚式場の会場装花の作成やブーケの作成について学ぶ	2後	60	4			○				○	
	○		フラワーワークショップ *E	ブライダルの現場で必要なブーケ、装花の知識を習得する	2前	15	1			○			○	○	
	○		テーブルコーディネート演習 *E	結婚式用のテーブルコーディネート・空間コーディネートについて実践を通して学ぶ	2前	30	2			○				○	
合計				71科目	2505単位時間(147単位)										

選択必修科目は、*A*B*C*D*Eのいずれかの科目を選択する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週